

ニューカップル 新春の抱負を語る

あけましておめでとうございます。恒例の新春座談会、今年は、市内の「新婚さんと婚約中」のあつあつカップル三組にご出席いただき、ねずみ年にふさわしい「子たくさんで家族思い」のすばらしい家庭づくりなどのほか「にぎわいのあるまち」「快適な環境で住み良いまち」「文化やスポーツに親しめる健康文化都市」そんな南国市の「ニューカップル」としての「夢や抱負」をおおいに語っていただきます。

参加してくれたのはこんな人たち



岡崎公博・ちづるご夫妻（八京）

平成6年12月結婚。青年団活動がきっかけで知り合ったお二人。ちづるさんが先輩として活躍していたところへ公博さんが入団。その後和気あいまいの活動の中で、気付いたら結婚することになっていたとか。公博さんは現在、南国市青年団の会長を務められています。平成7年6月に生まれた長男、大樹君と親子三人で生活しています。

【古谷】大家族が理想です。私たち二人と、子供たち、そしてお父さんもお母さんも一緒に住ってフイフイ言いながら暮らす……そんな、幸せな家庭を築くことです。
元且恒例の権者マラソンは、元気がいいですが、古谷さん今年も応援ですね。
【古谷】はい、板が走りますので、ぜひ応援に行きたいと思っています。



【岡崎夫人】結婚もうれしかったけれど、子供の誕生は、言い表せないほどうれしかったですね。

【岡崎夫人】ハウスで促成栽培しましたので。
（一同爆笑）
【岡崎夫人】結婚もうれしかったけれど、子供の誕生は、言い表せないほどうれしかったですね。

【岡崎夫人】ハウスで促成栽培しましたので。
（一同爆笑）

【岡崎夫人】ハウスで促成栽培しましたので。
（一同爆笑）

【岡崎夫人】ハウスで促成栽培しましたので。
（一同爆笑）

【岡崎夫人】ハウスで促成栽培しましたので。
（一同爆笑）

【岡崎夫人】ハウスで促成栽培しましたので。
（一同爆笑）

【岡崎夫人】ハウスで促成栽培しましたので。
（一同爆笑）



【岡崎】今、子供は託児所に預けています。大きくなるにつれ、幼稚園や保育所のお世話になると思いますが、私たちが通っていたころと、ずいぶん運営が変わっているようです。午後二時に保護者が迎えに行かなければならぬらしく、夫婦共働きというところでいろいろと考えています。昔のようにバスで通うというふうにはならないのでしょうか。

【岡崎】建設会社に勤務しています。昨年緑ヶ丘に家を新築し引っ越してきたばかりですが、緑ヶ丘は風光明媚で大変気に入っています。

【岡崎】建設会社に勤務しています。昨年緑ヶ丘に家を新築し引っ越してきたばかりですが、緑ヶ丘は風光明媚で大変気に入っています。



武内伸広・古谷佳子さん（熊岩）

3月結婚予定のカップル。平成7年3月、あるパーティーで出会ったお二人。その日のうちに高知空港へチケット、佳子さんを送って、帰宅した伸広さんへの電話。この時午前0時。「今日はどうもありがとうございました……」と佳子さん、そのまま2時間のラブコール。それから間もなく婚約したお二人、結婚後はスイートホームでの幸せな生活が始まります。



岡林健二・美佐ご夫婦（緑ヶ丘）

平成5年9月結婚。当時同じ職場にいたお二人、健二さんが美佐さんのことを見そめた(?) そうです。料理好きの美佐さんは、中土佐町で行われた「全日本創作かつお料理コンテスト」で最優秀賞を受賞しました。平成6年8月に高知市から緑ヶ丘に転入。現在、夫婦水入らずの生活を送っています。

【岡林】結婚して二ヶ月の今年、妻が中土佐町で行われた「全日本創作かつお料理コンテスト」で最優秀賞をもらいました。サラダ風の料理で、アイデアと味が評価されたんでしょう。すごくうれしかったですね。賞金も意外に多額でしたし……。

【岡林】そうですね。妻が他の参加者さんのアイデアを拝借し、よく食卓に並びましたね。

【岡林】私たちは、地域での活動などにはあまり参加していませんが、企業マンとしてすばらしい市に住んでいるという実感を持っています。



【岡林夫人】今年、主人にがんばってもらって「一大賞」を連続獲得

【岡林夫人】今年、主人にがんばってもらって「一大賞」を連続獲得

【岡林夫人】今年、主人にがんばってもらって「一大賞」を連続獲得

【岡崎】きれいな山や川、特に二人でよく行った黒滝は、本当にステキなところで、自慢できますね。

【武内】施設といえば、スポーツ施設も不足していますね。瓶岩体育会が、市の代表としてソフトボールの県大会に出ることになったのですが、練習のためグラウンドの使用を希

望したところその施設がどこにもない……青々なくなつたことがありました。自由に使える施設が欲しいですね。



【岡林】私

まら、たとえば学生の街みたいなものもできればいいですね。

感動をおぼえるあたらしいまちの誕生といったところですか。

ところで、お仕事の面ではいかがですか。



【武内】レントゲン技師として働いています

が、医療制度の変化によつてこの世界もいろいろむつかしくなってきました。高齢者対策などは高齢者だけの問題ではなく、若い私たちの問題だなど感じています。こんな話を聞いたことがあります。入院して一か月で痴呆症がすごく進んだ人が、自宅に帰ったら、とたんに直ったらしいんです。つまり、自宅での治療、自分でできることは自分でするといった考え方が肝心なわけです。そこで、在宅の患者を医者が訪問するシステムを充実したらどうでしょうか。入院施設を完備するのは大変だし、在宅で病院と同じレベルの医療サービスを受

けられるように充実することは重要だと考えます。

それに、看護婦さんの不足が言われていますが、われわれレントゲン技師も不足がみで、残業の多い人もいます。

【岡林】新婚の身には、つらいものがありますね。

【武内】高齢化の進むこれから、医療関係の技術者確保は大きな問題になってくると思います。

——本当にそう思います。

——こういう問題は、いったい誰が考えてくれるのでしょうか。

【武内】従来のように医師、病院一辺倒でなく、地域をあげて「在宅」での対応策を工夫して取り組んでいくべきではないでしょうか。創意と工夫が必要ですね。

——すこし深刻になりましたが、岡崎夫人はどういうお仕事をおこなっているんですか。

【岡崎夫人】彫刻をしています。正確には、銃銃の握りの部分の彫刻で、十二年目になります。

【岡崎】彼女の作品は、世界中に提供されているんですよ。それはすばらしい！ダイナミックなお仕事で世界制

覇をめざして、長気良くいきまいでですね。

【岡崎夫人】クルミの木で作るんですが、最近はお物入れなんかも作っています。電動の機械を使わないといけません

んですが、技術的にはまだまだだといったところですね。

——そうそう、抱負の次は「希望」についておうかがいしたいのですが？

【武内】なんとしてもハネムーンペリーの誕生を……頑張りたいと思っています。

【古谷】保母として子育てに携わっているんですが、誕生



して八か月の赤ちゃんが「道はい」から、つたい歩きするようになり、とてもうれしく思いました。また、一歳になる赤ちゃんと、先目「ふーてんてい」(古谷先生の意)と呼んでくれました。このときはほんとは感激しましたね。



【岡崎】当初からの目的である「亭主関白の確立」を目指します。

結婚して一年、どうも尻に敷かれてる感じがします。ことしはせひとも、「亭主関白」を決めてみたいです。

【女性広報委員】そりやあ、あなた、最初が肝心ぞネー、最初が！

(一同爆笑)

【岡崎夫人】亭主関白も素敵なことですが、健やかな子供たちの成長を祈っています。なによりも子供！そして、家族の健康を、亭主関白はそのあとです。

【岡崎】やっぱり「夢」でわかりそうですね……。

(また爆笑)

——岡林「ご夫妻の希望といえは？」

【岡林】やはり、健康を第一に、職域、地域、それぞれで人との出会いを大切にしていきたいと思っています。

また、カツオ料理コンテストで連続大賞を取りたいです。しかも今年は男性の私がりきって。

【岡林夫人】夫と協力してぜひ大賞をねらって頑張ります。

——「感動するところ」ですか。忘れていたような気がしますね。

——前園市のゆめられた魅力の一つは、人材かな？という気がしてきました。豊かな自然環境がもたらしているのも魅力です。可能性でいっぱいのおまを市民の連帯でつくりあげていきましよう。きょうは、ありがとうございました。みなさんのお幸せを祈ります。